

工 事 仕 様 書

工事名称 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事

工事場所 三原市本郷町上北方

工事内容 本工事は、北方コミュニティセンターの大ホールの空調機器更新工事を行う。

【工事概要】

空調設備改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

支払条件等 前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和6年度は契約金額の10分の4以内の額とする。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・ 建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・ 消防法、同施行令
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・ 労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・ 建設業法、同施行令、同施行規則
- ・ 建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・ 石綿障害予防規則
- ・ 大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・ 建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・ その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和7年6月30日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年1月6日制定）に基づき実施するものとする。
- ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
- ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設利用者の通路の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・工事の詳細については、事前に施設管理者へ説明を行い、承諾を得ること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者へ説明を行い、了承を得ること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算により責任を持って決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により滞滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・施工にあたり、既設天井及び壁面等を加工する必要がある場合は、監督員と協議の上、石綿含有建材の調査を実施すること。

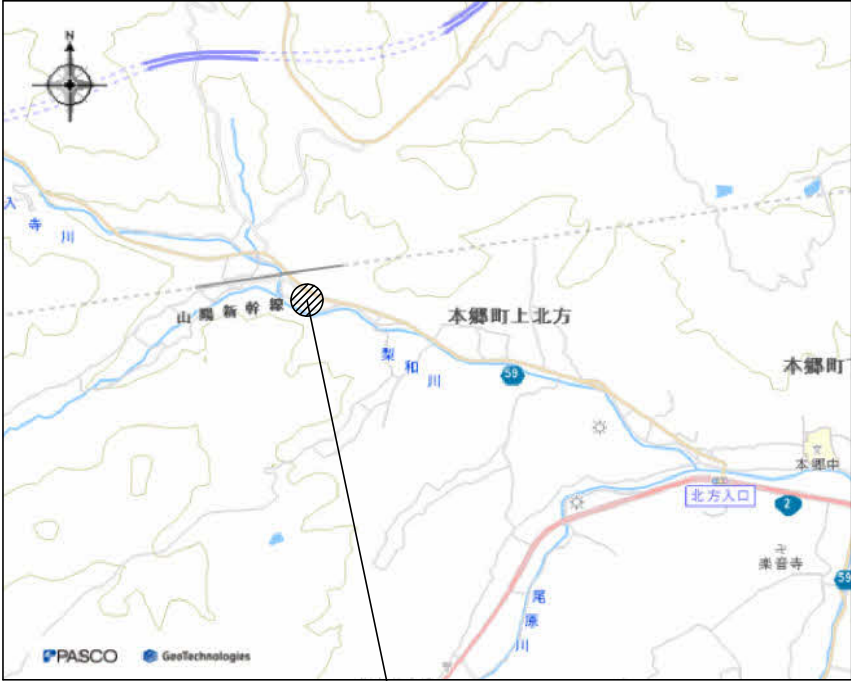
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について3検体を見込んでいる。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（縮小版・二つ折り・A4版）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

北方コミュニティセンター大ホール 空調機器更新工事

番 号	図面名（機械）	縮 尺	番 号	図面名（機械）	縮 尺
M-00	表紙、図面リスト	——	E-01	電気設備工事特記仕様書	——
M-01	機械設備工事特記仕様書（共通仕様）	——	E-02	盤結線図	——
M-02	機械設備工事特記仕様書（工種別事項）	——	E-03	改修後 空調電源・電灯設備 1階平面図	——
M-03	配置図・付近見取図・管種凡例	1／200	E-04	改修前 空調電源・電灯設備 1階平面図	——
M-04	空調和設備 改修前後 機器表	——			
M-05	空調和設備 改修後 1階平面図	1／100			
M-06	空調和設備 改修後 2階平面図	1／100			
M-07	空調和設備 改修前 1階平面図	1／100			
M-08	空調和設備 改修前 2階平面図	1／100			
M-09	空調和設備 改修前後 断面図	1／50			
M-10	天井伏図 1階平面図	1／100			

[illegible]

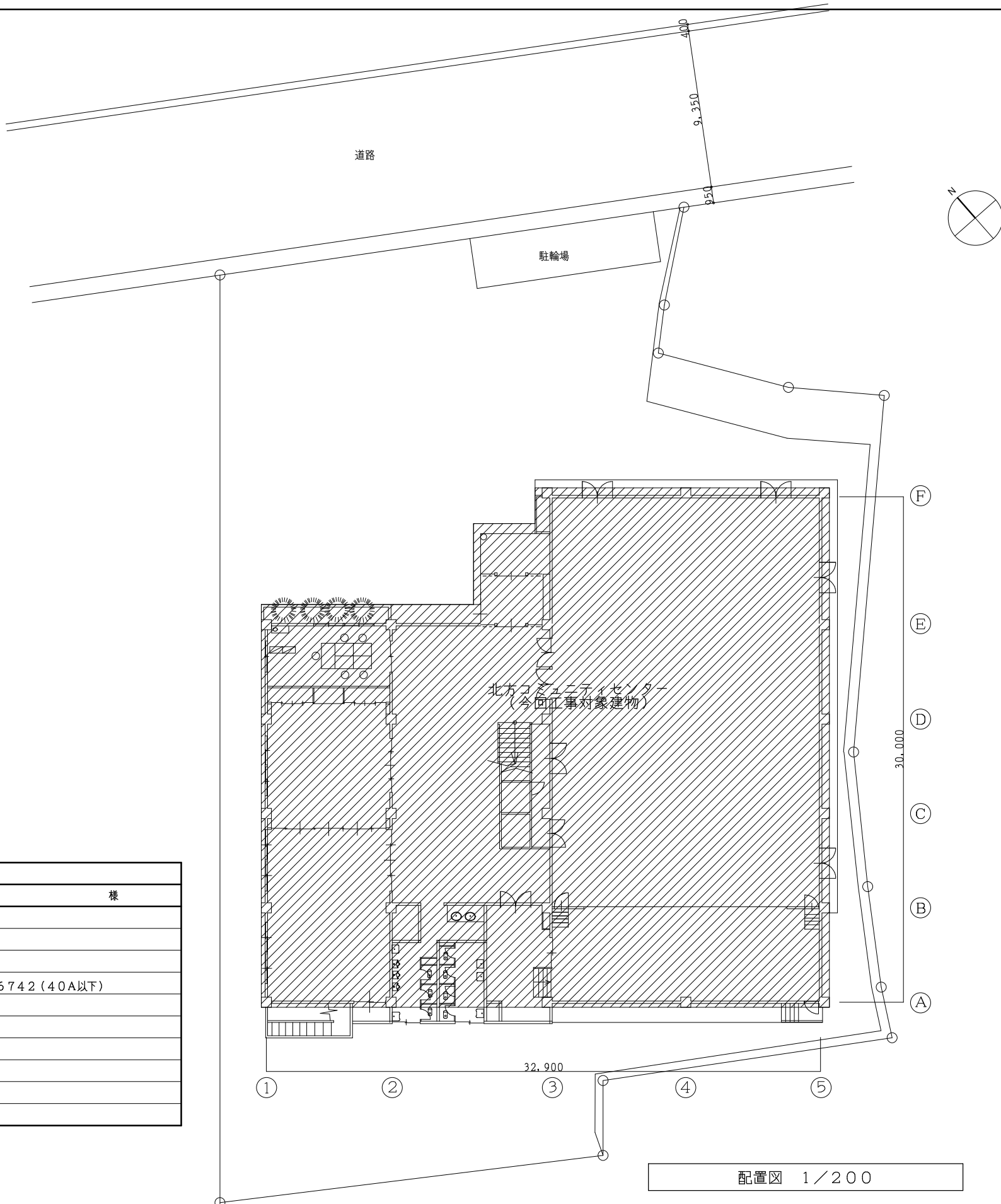
空気調和設備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2">外気条件</th><th colspan="4">室内（調整目標値）</th></tr><tr><th>温度（DB）</th><th>湿度</th><th>温度（DB）</th><th>湿度</th><th>温度（DB）</th><th>湿度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>34・9℃</td><td>51・0％</td><td>28・0℃</td><td>50％</td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬季</td><td>10・2℃</td><td>69・9％</td><td>19・0℃</td><td>40％</td><td></td><td></td></tr></table>	外気条件		室内（調整目標値）				温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	夏季	34・9℃	51・0％	28・0℃	50％			冬季	10・2℃	69・9％	19・0℃	40％			2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼管（白管） 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼管（白管） 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管（白管） 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼管（黒管） 5) 蒸気遠水 ・ 圧力配管用炭素鋼管（STPG370Sch40） 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼管（黒管） 7) 冷媒 ○ 断熱材被覆銅管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管（SUS304） 9) 空調用排水 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3・2mm ・ 4・5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない 3) ばいじん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに隣る表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30・000m ³ /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ・ 取付ける （定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形） 床置形にはサブドレンパンを設ける。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外送配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） パッケージ形空調機の記載による。 集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含む） リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは（ ・ 再生式 ・ 非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 直車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図（施工32）（二重設タンク） ※ 標準図（施工33）（タンク室有り） 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置（液面計は（ ・ 抵抗変位式 ・ 磁変式 ）で（ ・ 屋内 ・ 屋外 ）より油量監視用）を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事 ） 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナポルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） （ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする） ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1・6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例等第1の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工49）を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所ではフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ×100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設置の場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ・ グリsexトラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 1) 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器直しの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付き形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 （1）防火ダンパーは表示等により区分する。 （2）防煙ダンパー 遠隔復帰式（定格入力はDC24V、0・7A以下。） ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 1) エア溜まりを防止と思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置（※ 手動 ・ 自動 ）を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図（施工38（g））による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。	2. 8. 消音内貼り 空気調和・換気設備 2. 9. 機器用基礎 3. 0. 空調用流体の水質基準 3. 1. フィルターの予備品 排煙設備 1. ダクト 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定 目動制御設備 1. システム構成・機能 2. 自動制御機器 3. 自動制御装置 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線 衛生器具設備 1. 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓 給水設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1. 配管材料 2. 弁類 3. 量水器 4. 量水器樹 5. 定水位調整弁 6. 緊急遮断弁装置 7. 水栓柱 8. 不凍水栓柱 9. 水栓 10. タンク 11. 引込納付金等 12. ボックスのコンクリート巻き 排水設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1. 配管材料 2. 排水金物 1) 屋内汚水管（第1樹まで含む） 2) 屋内雑排水管（第1樹まで含む） 3) 通気管 4) 屋外排水管 記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。 空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100％を予備品（付付）として納める。 ファンコイルユニットは総枚数の（ ・ 50％ ・ 100％ ）に当たるフィルターを予備品（付付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100％を予備品として納める。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製（厚1・6mm） ・ パネル形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ スリット形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ ダンパー形（ ・ 天井内取付 ・ ） 電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要 ） 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1・5・1表4・1・11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。 図示による。 調節器等の取付け高さは ※ 1300mm 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し 1) 屋外、屋外露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠すの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項9・電線類の規格による。 （機器、盤類はこれよりなくともよい） 用途：①電源線、接地線 ②電気式の調節器（サーモ・ヒューミ等）用電線 ③各種検出器（温度・湿度等）、操作器（バルブ・ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線 型式変更等により参考型式が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板（アクリル板に印刷写）を取付ける。 形式は（ ※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 ）とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式（ ※ AC電源 ・ 乾電池 ） ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ・ 電気開閉式（ ・ センサー式 ・ タッチスイッチ ） ・ 手動式 洗浄用水加温方式は（ ・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式 ）とし、付加機能は図示による。 ※ 標準図（施工65） ・ 標準図（施工66） ・ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。	排水設備 3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き 給湯設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1. 配管材料 2. 弁類 3. 保温 消火設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1. 配管材料 2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温 4. 屋内消火栓 5. 屋外消火栓 力設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1. 都市ガス設備 2. 配管材料 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルブ貯槽 6. ガスメーター 7. 容器周りの配管 8. 容器転倒防止 浄化槽設備 1. 処理種別及び方式 2. その他 雨水利用設備 1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水電動遮断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置 冷媒の回収方法について 冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は（ ※ 本工事 ・ 別途工事 ）とする。 （1）「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書（都道府県知事登録）の写し ○ 事前確認書の写し ○ 回収依頼書の写し ○ 引取証明書 ○ 破壊証明書の写し （2）ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し	石綿含有設備資材の処理について I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 （1）ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 （2）たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 （3）配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケットの撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 （4）成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿を含有する設備資材の処理方法（※撤出費・運搬費・処分費は別途） （1）処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 （2）石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 （3）構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 （4）石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。 フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等 配管切断箇所 成形保温材に飛散抑制剤の塗布 成形保温材前後の保温材撤去 配管切断箇所 ビニールシート等で成形保温材をつつみ、テープ等で密閉 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS 成形保温材付き配管撤去要領図 S=NS	建築物解体工事（機械設備の部） I. 工 事 概 要（解体工事の部） 1. 工 事 内 容（解体工事の部） 1) 特記仕様書（機械設備の部）I・2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。 2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。 アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。 3) 本工事によるは壊れ機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。（図面は参考とする） （1）建物については、 ①重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。 図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。 （コンクリート基礎の撤去は建築に含む。） ②人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。 フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。 ③熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、 （ ※ 本工事 ・ 別途工事 ）とする。 （2）その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。 （3）屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。 図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インバート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。 配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。 （4）給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。 （5）撤去する配管、ダクト（付属品含む）の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。 5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。 （浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない） II. 工 事 仕 様（解体工事の部） 1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書（機械設備工事の部）による。
	外気条件		室内（調整目標値）																																
温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度																														
夏季	34・9℃	51・0％	28・0℃	50％																															
冬季	10・2℃	69・9％	19・0℃	40％																															
株式会社 設 備 計 画 代表取締役 呼 坂 政 明				工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事 図面名 機械設備工事特記仕様書（工種別事項）	縮尺 —	図面番号 M 02																													



工事対象建物

付近見取図

管 種 凡 例		
記 号	名 称	仕 様
— R —	冷 媒 配 管	断熱材被覆銅管（屋内外操作線共巻） J C D A 0 0 0 9
		屋外露出部は樹脂製保温化粧ケース仕上げ。（公共建築工事標準仕様）
		屋内隠ぺい部はビニルテープ巻を適所に行う。
— D —	ド レ ン 管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） J I S K 6 7 4 1 又は J I S K 6 7 4 2（40A以下）
Ⓡ	空 調 リ モ コ ン	個別，ワイヤードリモコン
()	既 設 管	
////////	撤 去 配 管	
*****	放 棄 配 管	
— H —	既 設 管 接 続	



配置図 1/200

株式会社 設 備 計 画
代表取締役 呼 坂 政 明

工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事
図面名 配置図・付近見取図・管種凡例

縮尺 1/200

図面番号
M
03

機 器 表 (新 設)							
記 号	名 称	仕 様	電 源			台 数	設 置 場 所
			φ	V	kW		
ACP-1	パッケージエアコン	型 式 : 空冷ヒートポンプパッケージエアコン, インバーター制御				8	1階 大ホール
		天井埋込ダクト型					
		冷房能力: 12.5 kW					
		暖房能力: 14.0 kW					
		送風機 : (屋内機)	3	200	0.35		
		(屋外機)	3	200	0.1		
		圧縮機 : (屋外機)	3	200	3.66		
		付属品 : フィルター, 防振吊金具					
		防振ゴム, PCブロック 他標準附属品一式共					
東芝: GD SA14014MUB相当品							
ACP-2	パッケージエアコン	型 式 : 空冷ヒートポンプパッケージエアコン, インバーター制御				2	1階 ステージ
		壁掛型 , ツインタイプ					
		冷房能力: 12.5 kW					
		暖房能力: 14.0 kW					
		送風機 : (屋内機)	3	200	0.042		
		(屋外機)	3	200	0.1		
		圧縮機 : (屋外機)	3	200	3.66		
		付属品 : フィルター, ドレンアップメカ, 防振吊金具,					
		防振ゴム, PCブロック 他標準附属品一式共					
東芝: GK SB14014MUB相当品							
	ワイヤードリモコン	既設と同様の管理とする				4	1階 ロビーホール×2 倉庫×2
	(大ホール西、東、ACP-2×2)						

機 器 表 (撤 去)							
記 号	名 称	仕 様	電 源			台 数	設 置 場 所
			φ	V	kW		
AC-1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	型 式 : 天埋ダクト形				8	1階 大ホール
		冷房能力: 13.0 kW					
		暖房能力: 15.5 kW					
		圧縮機 :	3	200	3.75		
		冷 媒 : R-22 (5.0 kg)					
		屋内機 : (寸法) 380 × 1,200 × 660 (74kg)					
		屋外機 : (寸法) 1,380 × 550 × 1,150 (170kg)					
		東芝: A1D-125H/RUG-1255HT					
AC-2	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (※2階室外機置場にある 室外機1台は残置とする)	型 式 : 壁掛形 , ツインタイプ				2	1階 ステージ
		冷房能力: 13.0 kW					
		暖房能力: 15.3 kW					
		圧縮機 :	3	200	3.75		
		冷 媒 : R-22 (3.9 kg)					
		屋内機 : (寸法) 370 × 1,350 × 200 (25kg)					
		屋外機 : (寸法) 1,380 × 550 × 1,150 (170kg)					
		東芝: A1K-632H×2/RUG-1255HT					

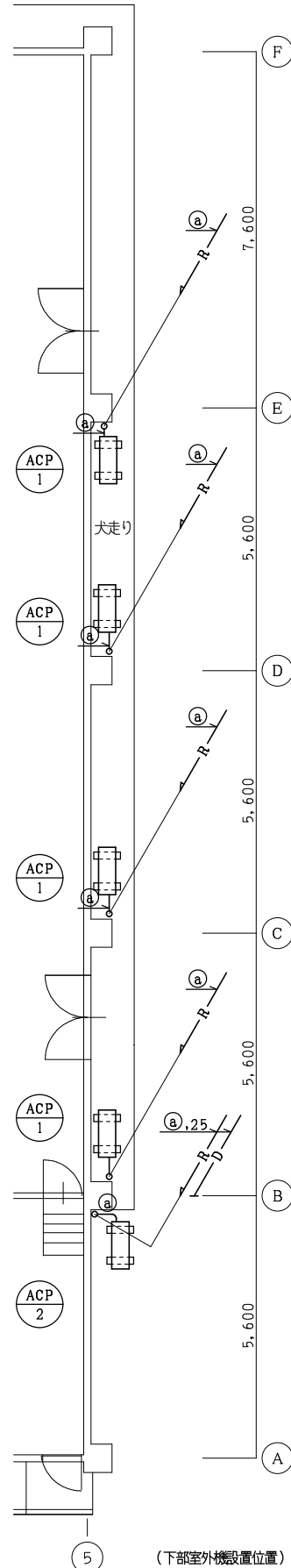
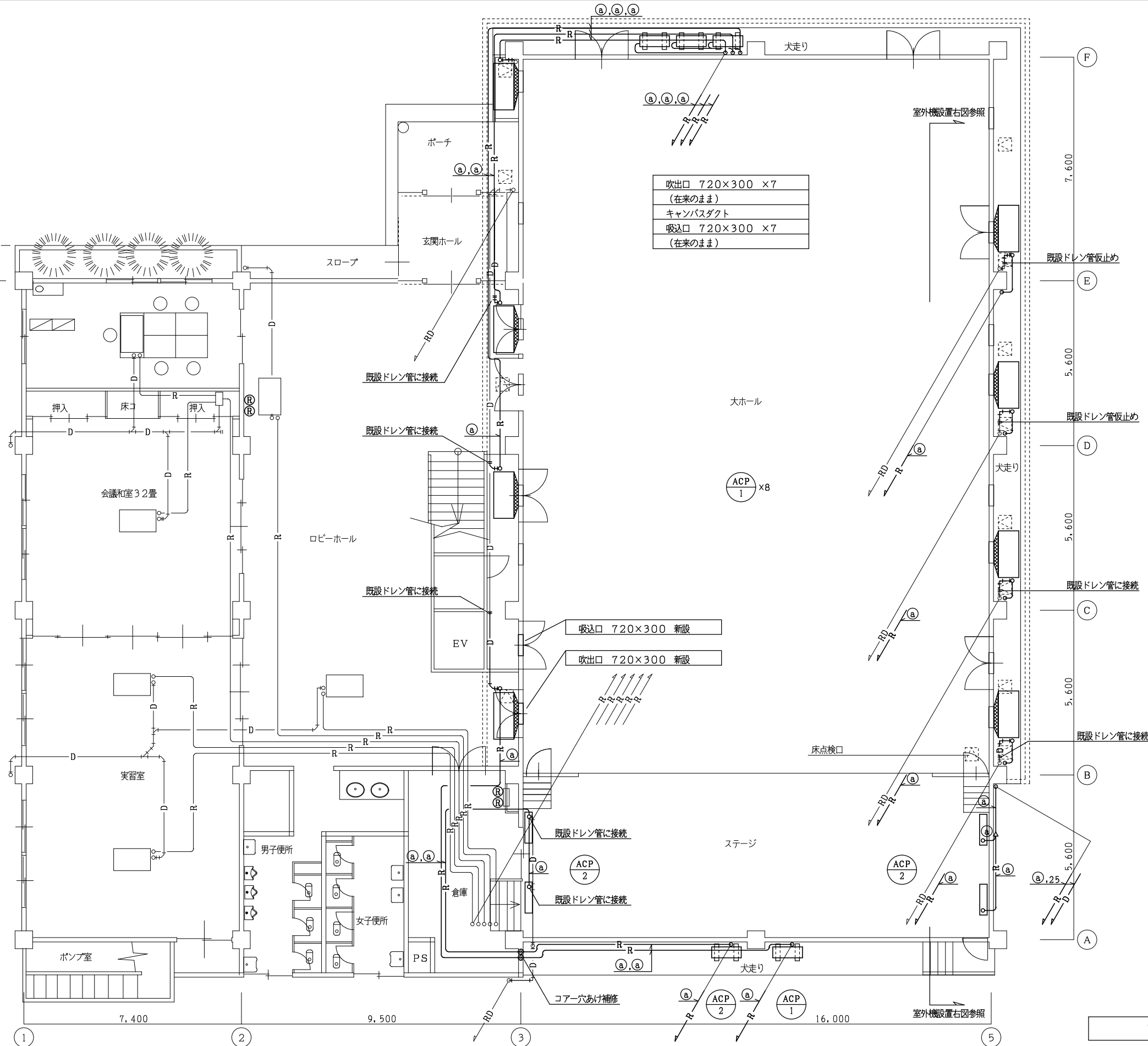
[illegible]

制御配線工事区分			
機器名	工事種別	機械設備工事	電気設備工事
・パッケージ形 空気調和機	一次側電源配管配線	——	● 配管・配線
	屋内外機器間操作用	● 配線	——
	リモコンスイッチ	● 取付	——
	同上配線	既設再利用	
	同上配管	既設再利用	

		株式会社 設 備 計 画 代表取締役 呼 坂 政 明	工事名	北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事	縮尺	—	図面番号 M / 04
			図面名	空気調和設備 改修前後 機器表			



600
2,400
1,800
1,200
1,850
950
3,700
1,900
900



1 階平面図 S = 1 / 100

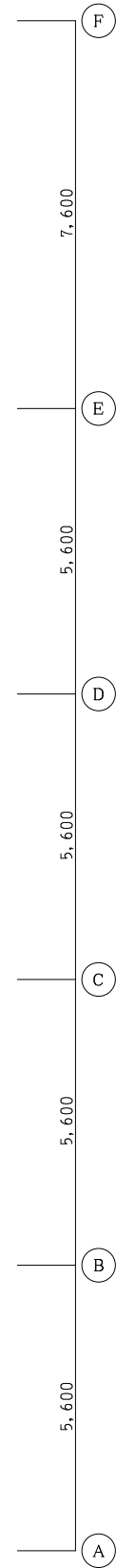
冷媒管サイズ (参考)	
記 号	液管 , ガス管
①	9.5 φ , 15.9 φ
②	12.7 φ , 19.1 φ

株式会社 設 備 計 画
代表取締役 呼 坂 政 明

工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事
図面名 空気調和設備 改修後 1 階平面図

縮尺 1/100

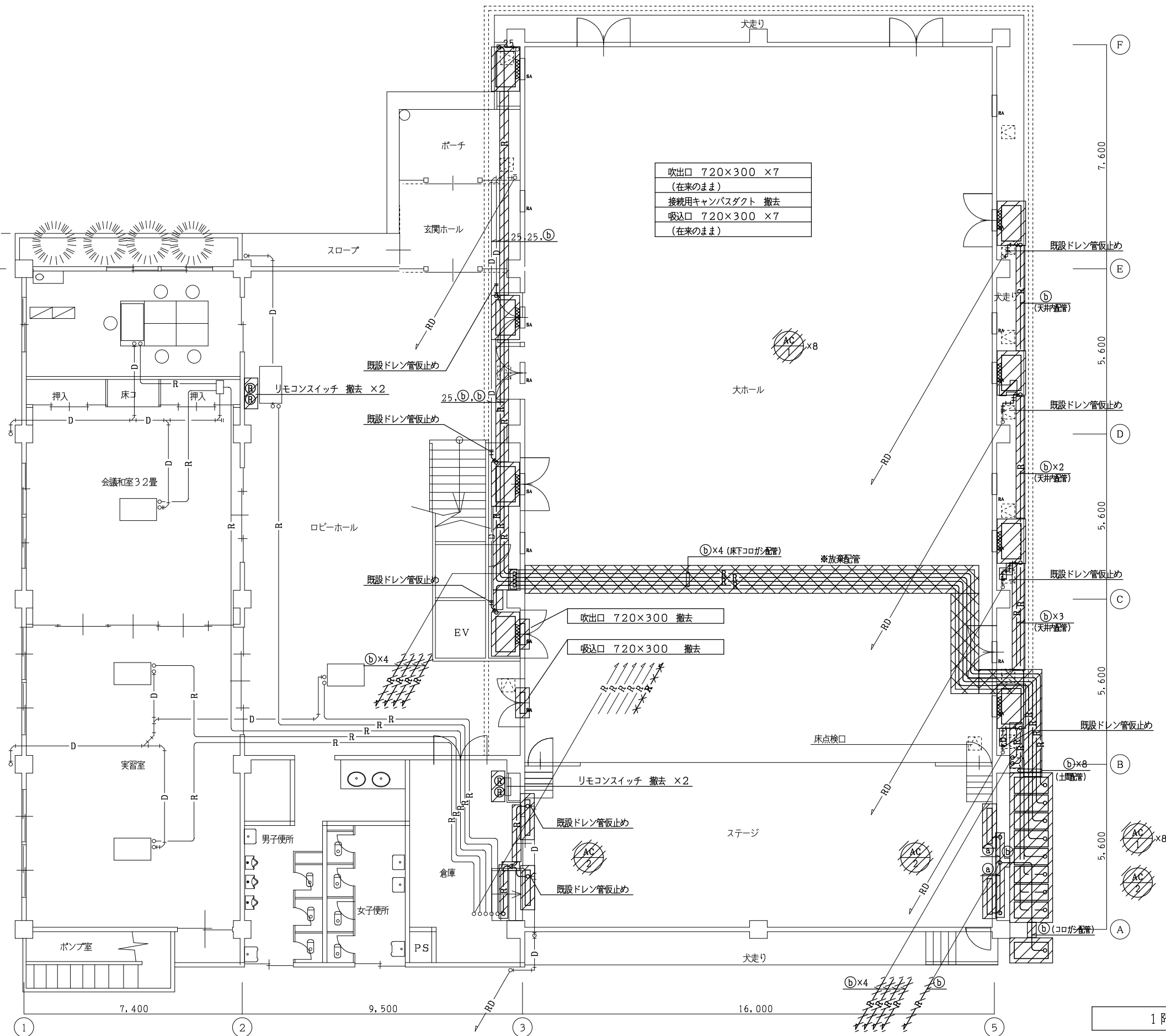
図面番号
M
05



		株式会社 設 備 計 画 代表取締役 呼 坂 政 明	工事名	北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事	縮尺	1/100	図面番号 M 06
			図面名	空調設備 改修後 2階平面図			



600
2,400
1,800
1,200
1,850
950
3,700
900



吹出口 720×300 ×7 (在来のまま)
接続用キャンバスダクト 撤去
吸込口 720×300 ×7 (在来のまま)

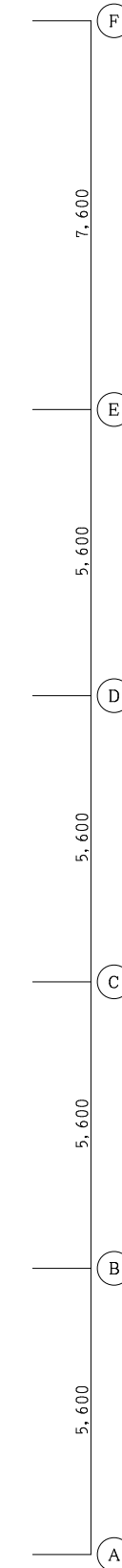
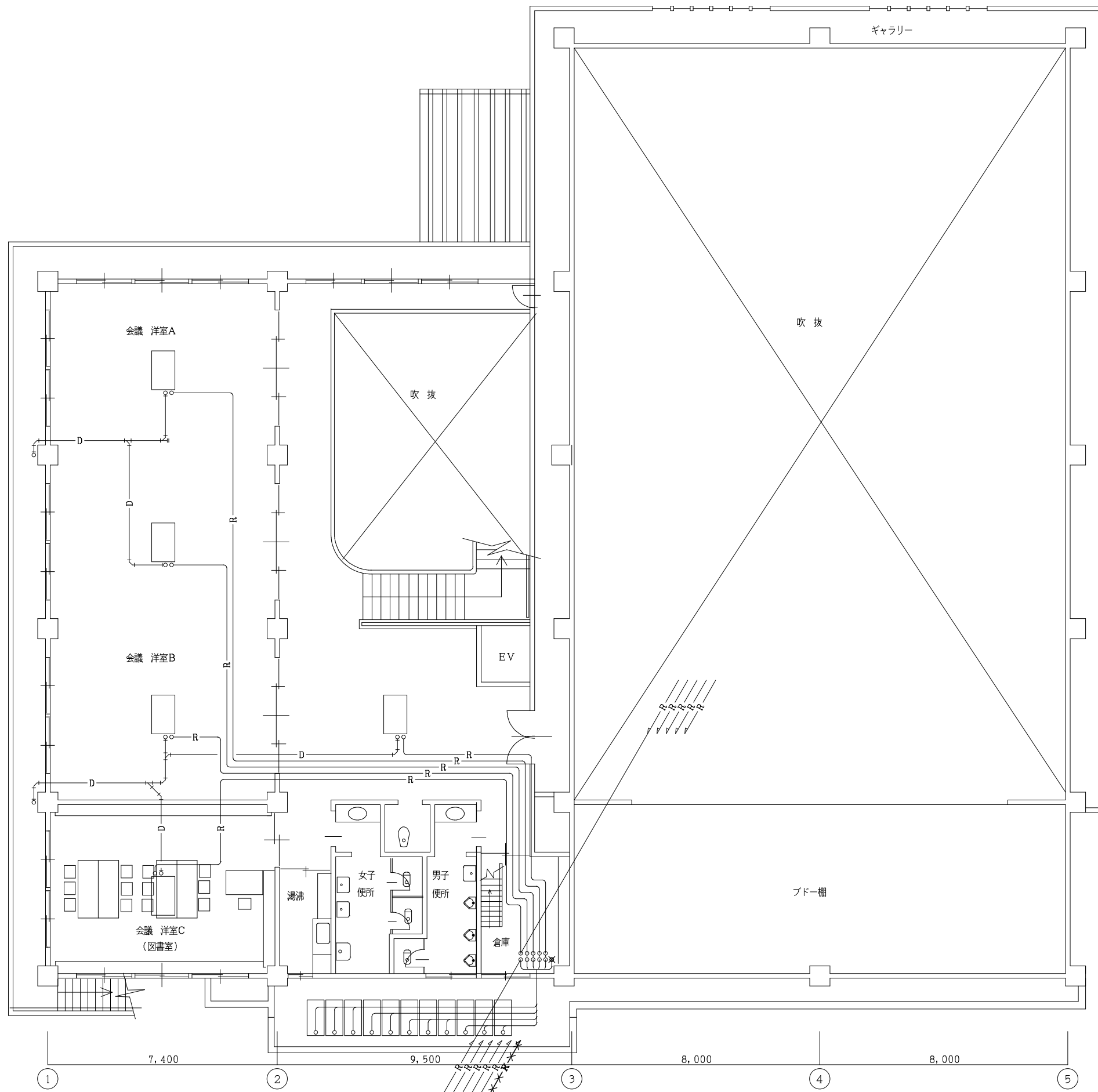
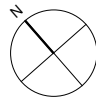
冷媒管サイズ	
記号	液管 , ガス管
①	9.5φ , 15.9φ
②	12.7φ , 19.1φ

株式会社 設備計画
代表取締役 呼坂政明

工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事
図面名 空気調和設備 改修前 1階平面図

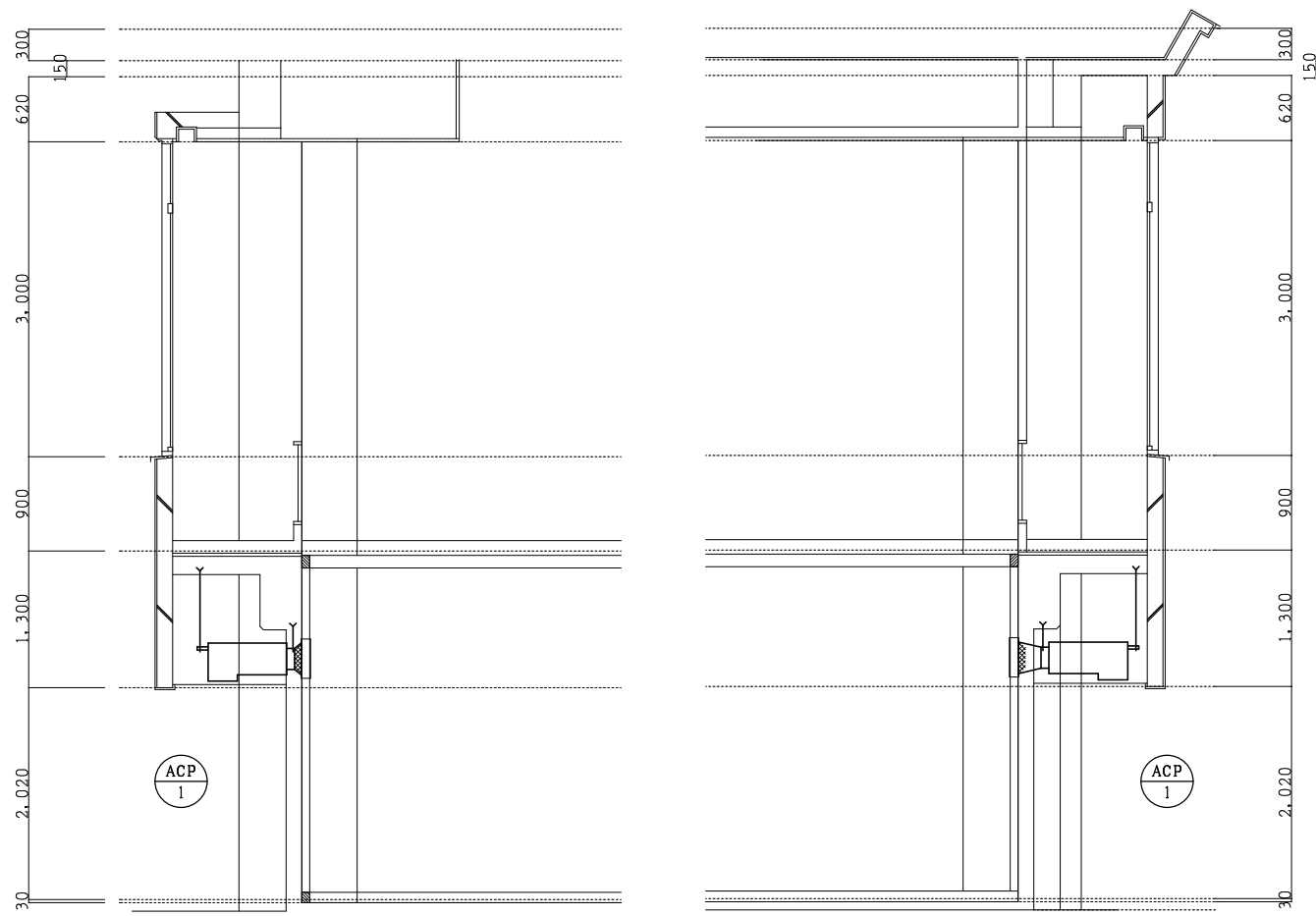
縮尺 1/100

図面番号 M
07

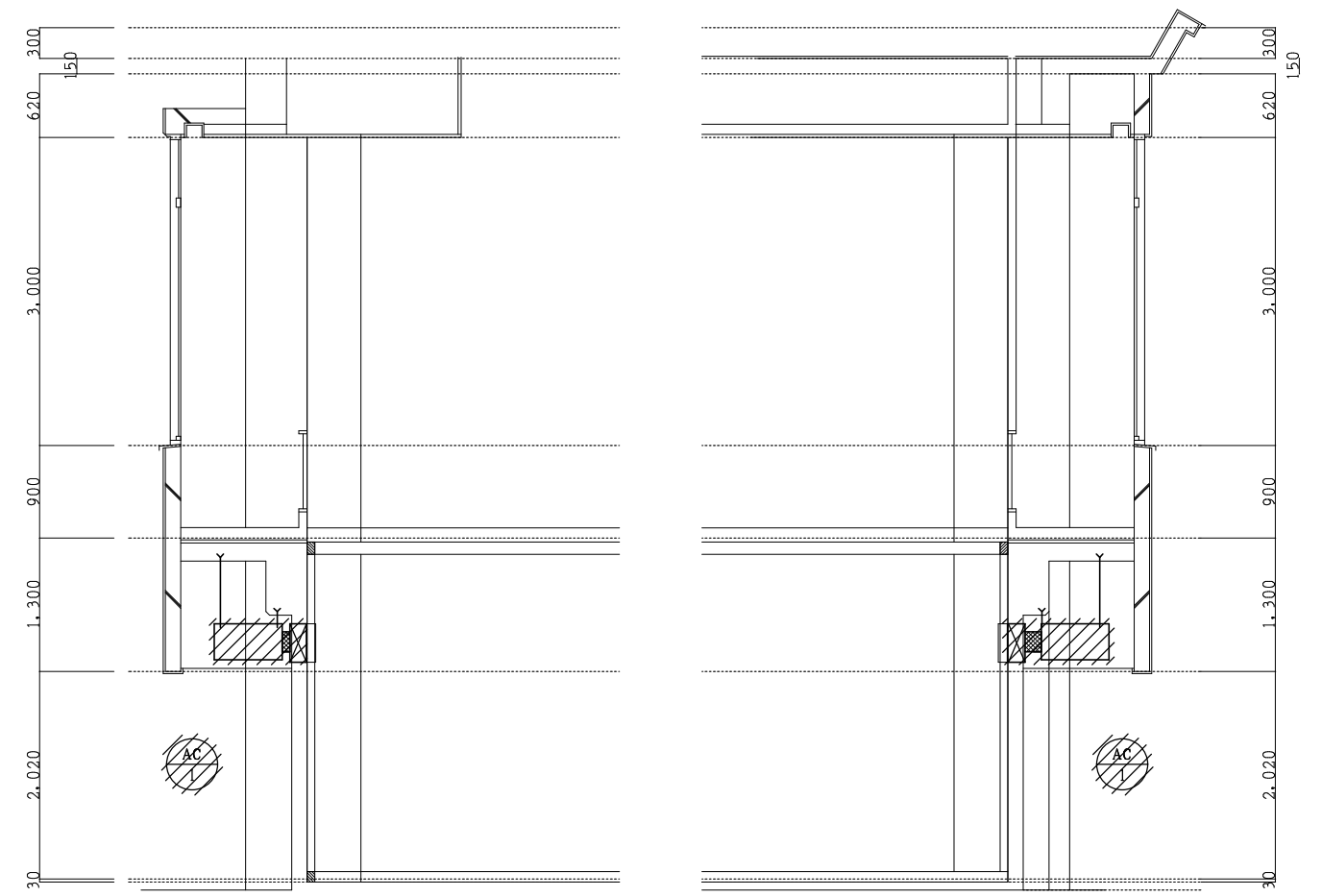


2階平面図 S = 1 / 100

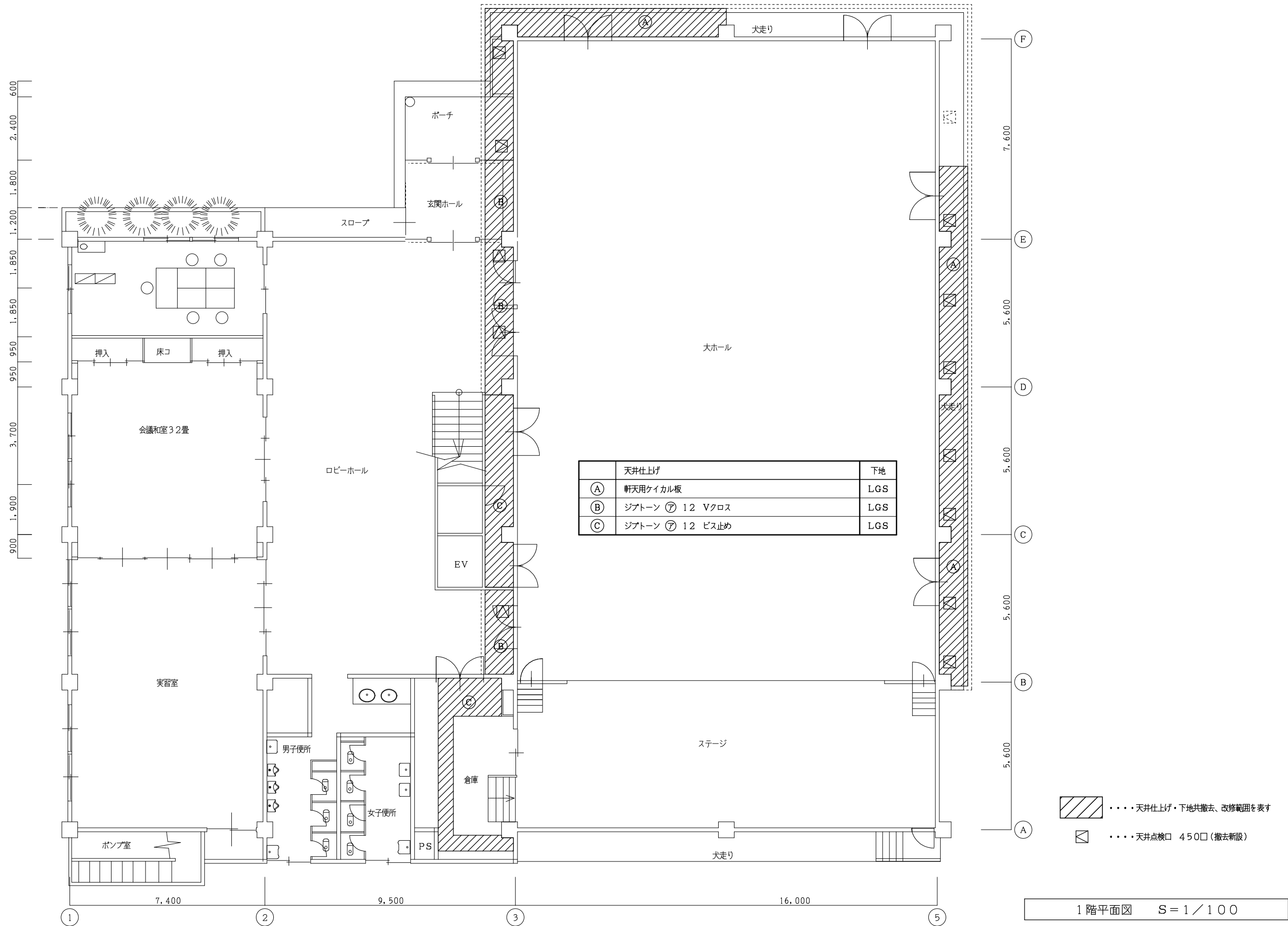
株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事	縮尺 1/100	図面番号 M 08
	図面名 空調設備 改修前 2階平面図		



断面図（改修後） S = 1 / 5 0



断面図（改修前） S = 1 / 5 0

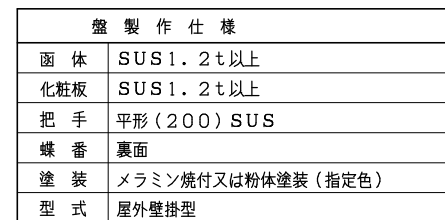


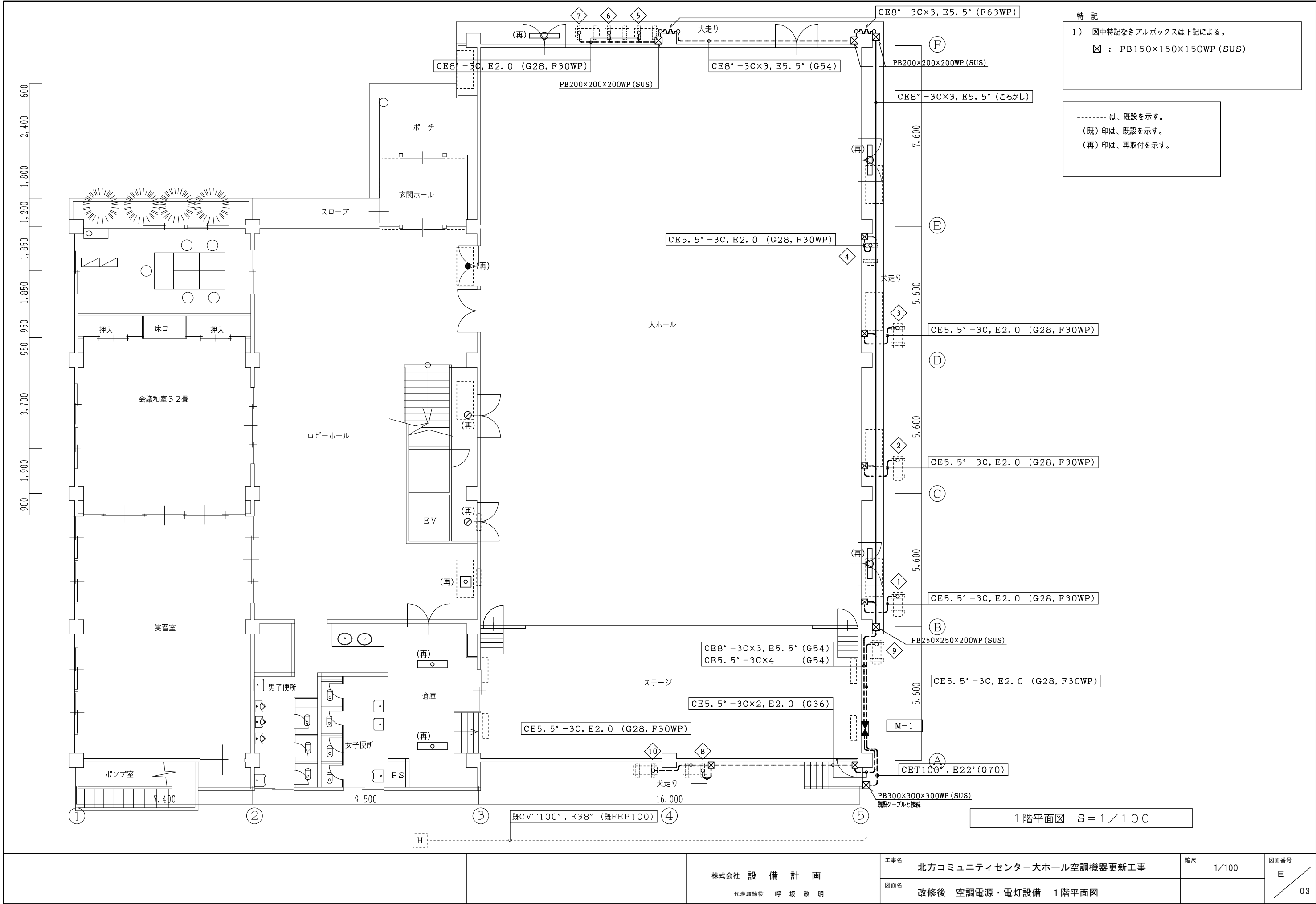
株式会社 設備計画
代表取締役 呼坂政明

工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事
図面名 天井伏図 1 階平面図

縮尺 1/100

図面番号 M
10

[illegible]



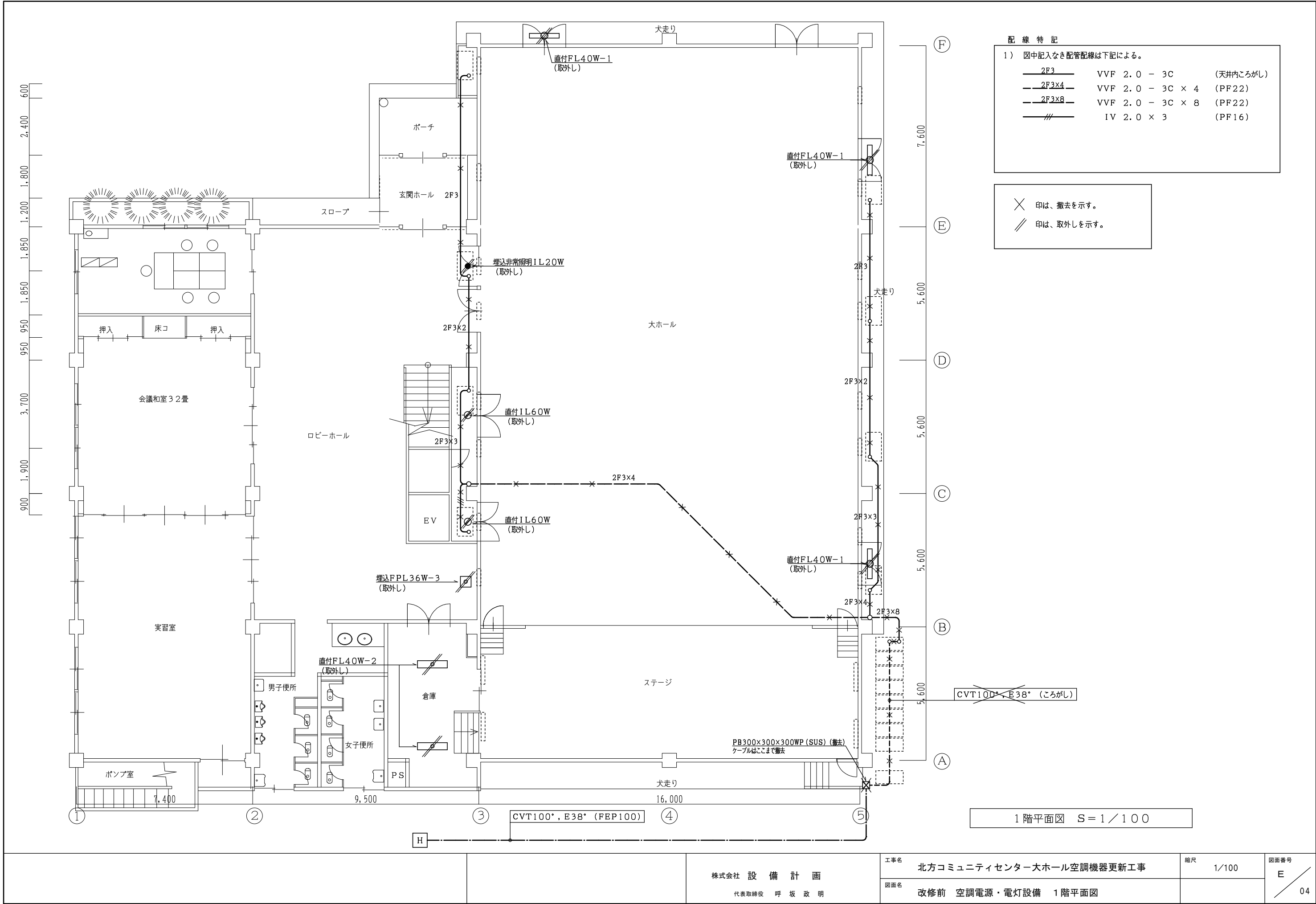
特記

1) 図中特記なきプルボックスは下記による。
☒ : PB150×150×150WP (SUS)

----- は、既設を示す。
(既)印は、既設を示す。
(再)印は、再取付を示す。

1階平面図 S=1/100

株式会社 設備計画 代表取締役 呼坂政明	工事名 北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事	縮尺 1/100	図面番号 E 03
	図面名 改修後 空調電源・電灯設備 1階平面図		



参 考 数 量 書

工 事 名 称

北方コミュニティセンター大ホール空調機器更新工事

[工事概要]

三原市本郷町上北方

用途,構造,面積

工 事 範 囲

一式

別 途 発 注 工 事

工 期

契約締結日の翌日から 令和 7 年 6 月 30 日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設 計 金 額 ￥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

[illegible]

機械設備工事 種目別内訳

[illegible]

電気設備工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
計					

機械設備工事 科目別内訳

機械設備工事

[illegible]

電気設備工事 科目別内訳

電気設備工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

建築工事

[illegible]

機械設備工事 中科目別内訳

機械設備工事

[illegible]

電気設備工事 中科目別内訳

電気設備工事

[illegible]

建築工事 中科目別内訳

建築工事

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

機械設備工事		空気調和設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 液管 厚10mm以上	147	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	147	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	17	m			
EM-EEFケーブル (基準単価)	2.0mm- 3C ころがし	147	m			
ダクト用たわみ継手		8	m			
ユニバーサル形吹出口	VHS 700 300	1	個			
スリット形吸込口	GV 300 700	1	個			
個別リモコン		4	個			
機械はつり(ダイレクト リフターによる 配管用貫通口)	200mm程度 100mm	6	か所			
取付費		1	式			別紙 00-0002
保温工事		1	式			別紙 00-0003
既設管接続		1	式			別紙 00-0004
計						

機械設備工事 細目別内訳

機械設備工事		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AC-1空調屋外機 撤去	天井埋込ダクト外形,シングル C:13.0kW H:15.5kW	8	台			
AC-1空調屋内機 撤去	天井埋込ダクト外形,シングル C:13.0kW H:15.5kW	8	台			
AC-2空調屋外機 撤去	壁掛形,シングル C:13.0kW H:15.5kW	1	台			
AC-2空調屋内機 撤去	壁掛形,シングル C:13.0kW H:15.5kW	4	台			
リモコン 撤去		4	個			
冷媒処分	AC-1 R-22 5.0kg	8	組			
冷媒処分	AC-2 R-22 3.9kg	2	組			
搬出費	複数搬出 200kg/m3未満	1.5	t			
冷媒用 断熱材被覆銅管 撤去	9.52外径(3/8B) 液管 厚8mm	8	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 撤去	12.7 外径(1/2B) 液管 厚10mm以上	154	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 撤去	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	8	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 撤去	19.05外径(3/4B) ガス管 厚20mm以上	154	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)撤去	屋内一般 25A	10	m			
EM-EEFケーブル 撤去	2.0mm- 3C ころがし	163	個			
ケーブル継手 撤去		8	m			

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

機械設備工事		空気調和設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付費		1	式			別紙 00-0002
エバ-刈形吹出口 取付費	~ 0.30	1	個			
スリット形吸込口 取付費	~ 0.5	1	個			
リモコン 取付費		4	個			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0003
冷温水管等 保温 (基準単価)	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 100A	57	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内,ハ°シャフト内 アルミガラス化粧筒 25A	8	m			
計						
既設管接続		1	式			別紙 00-0004
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 25A 保温有	10	か所			
計						

[illegible]

機械設備工事 別紙明細

[illegible]

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事		動力設備		動力幹線		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盤類		1	式			別紙 00-0010
動力盤	M-1	1	面			
計						
電線		1	式			別紙 00-0011
600V耐燃性ポリエ ン絶縁電線(EM-IE)	22mm2	4	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0012
EM-CETケーブル	100mm2 管内	4	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0013
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 70mm	4	m			
計						

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事		動力設備		動力分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電動機等接続		1	式			別紙 00-0016
電動機結線	直入始動方式	10	台			
計						
電線		1	式			別紙 00-0017
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	103	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)	5.5mm2	42	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0018
EM-CEケーブル	5.5mm2- 3C 管内	85	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 3C ヒット・天井	38	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 3C 管内	69	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 3C ヒット・天井	76	m			
計						

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事		動力設備		動力分岐		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電線管		1	式			別紙 00-0019
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 28mm	44	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 36mm	12	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 54mm	21	m			
金属製 可とう電線管(F) (ビニル被覆有)	(30) 1F1A° ショーン用等	10	m			
金属製 可とう電線管(F) (ビニル被覆有)	(63) 1F1A° ショーン用等	2	m			
計						
ボックス類		1	式			別紙 00-0020
プルボックスSS形 防水(SUS)	150 × 150 × 150	7	個			
プルボックスSS形 防水(SUS)	200 × 200 × 200	1	個			
プルボックスSS形 防水(SUS)	250 × 250 × 200	1	個			
プルボックス用 接地端子(ET)		9	個			
計						

電氣設備工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事 別紙明細

電気設備工事 発生材処理						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ 処分費		1	式			別紙 00-0022
ステンレスくず		6.42	kg			
1号銅線くず		30.38	kg			
ナゲット処理		50.86	kg			
計						
産業廃棄物処分費		1	式			別紙 00-0023
廃プラスチック類		0.02	t			
計						
産業廃棄物運搬		1	式			別紙 00-0024
運搬機械運転 (トラック)	普通用 2 t 積	1	運転日			
計						

建築工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費（積上分） 明細

[illegible]

現場管理費（積上分） 明細

[illegible]